



日本労働組合総連合会 群馬県連合会(連合群馬)

発行人 金子 編集人 鈴木

群馬県前橋市野中町361番地2 2013年5月号 (群馬県勤労福祉センター2F) TEL 027—263—0555 FAX 027—261—0549 No.217

Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp

1000万連合めざし、組織拡大実践セミナー開

1000万連合実現をめざし、 組織拡大実践のためのセミナー を、4月20日に群馬県勤労福 祉センターで開催し、産別・地 協から代表者や組織拡大担当者 など102名が参加しました。

本セミナーは「組織拡大のポ イント」、「組織化事例発表」、「組 組織拡大は 織拡大オルグの実践」の3部構 成で行いました。



各組織の生命線! 小島副会長

冒頭、小島副会長より「連合だけではなく、それ ぞれの産別・単組の生命線である組織拡大を、自分 の気持ちの中に落とし込んで実践していただきたい」 とあいさつがありました。

「組織拡大は多面的な捉え方を」

第1部は「組織拡大のポイント」と題し、組織担 当の鈴木克幸副事務局長より説明を行いました。

組織拡大の目的は、「運動の強化、雇用の質の向上、 さらには影響力の維持がある。特に影響力について は、有期雇用労働者や60歳以降の継続雇用労働者 が増えている中で、過半数を超える組合員を代表す る組織でなければ労働組合としての影響力を失うこ とがある」、非正規労働者の組合員化については、「よ り良い職場にすることは組合員だけでなく、そこで 働く非正規の仲間も望んでいる。不安や不満を無く し職場の風通しを良くすることが必要」、「労働条件 について労使で協議されているが、当事者である非 正規労働者が、組合へ意見や要望を出す機会を設け られていないため、機関手続きに関与できるように する必要がある」など、連合運動としての組織拡大 の必要性を説明しました。



組織拡大について学ぶ、各組織の代表者

「アドバイザーとの信頼構築から労働組合づくりに」

第2部の「組織化事例発表」では、連合群馬ユニ オンへ加盟している組合が結成されるまでのいきさ つと、結成後についての紹介を行いました。

組合結成のきつかけは「会社の業績や賃金が決ま る方法がわからず、会社と話がしたいと思い、アド バイザーへ相談する中で、労働組合を作る決心をし た」、結成する中で「仲間を増やす時に、会社へ組 合作りが漏れてしまい、妨害された」、「労働組合の 必要性を丁寧に仲間に伝え、賛同者が増えた時のう れしさ」、また結成して良かったこととして「団体 交渉での要望に対し、会社が対応してくれた」など を伝えてくれました。

「労働運動家の使命感・正義感のもとに」

第3部は「組織化オルグの実践」と題し、連合本 部・大出中央アドバイザーを講師に招き、講演を行 いました。

大出アドバイザーは長年の経験を交え、組織拡大 担当者の心構えとして、「労働者の自発的結成による 組織化は基本だが、労働者の救済という大義で取り 組んでいるにも関わらず、経営者の不当労働行為に より、理解者であるリーダーが会社にいられなくな り、組合消滅の道をたどることもある。経営者に対 し民主的経営の重要性、生産性運動など、良好な労 使関係が必要であることの理解を育む努力が必要で ある」と話されました。

また、組織拡大に関 して、「リーダーたる者、 労働者全体の視点に立 てるか否か、自分達の 産別・組合の狭い意識 では困る。また、『助け 合いの世界=労働運動』 の共生の哲学に"メ



組織化の経験を語る 大出中央アドバイザー

リット・デメリット(損得論)"といった貧しい論 理はない。連合運動を学び、社会的使命を自覚して 取り組んで欲しい」、「組織化の実行部隊立ち上げに 向けて動き出している。困っていることは連合本部 へ上げていただき、共に1000万連合実現へ向け、 邁進したい」と熱い思いを語られました。

2 NO.217

今年度の平和行動に向けて学習会を開催

平和行動を理解し、派遣団へ積極的に参加してもらうための2013平和学習会を4月13日に群馬県勤労福祉センターで開催し、産別・地協・議員懇など137名が参加しました。

連合群馬では、本部が開催する沖縄・広島・ 長崎・根室と、独自に取り組んでいる広島親子 の合計5つの派遣団へ、毎年多くの組合員とそ



広島親子・田村さん親子 (電機連合)



沖縄・中田さん(自動車総連)

の家族を派遣しています。今年度も積極的な参加を得るため、団派遣がはじまる前に学習会を 開催しています。

昨年度の参加者による報告では、実際に現地へ赴き、歴史的建造物や資料館を見学し、被爆体験者から実体験を聞いて、平和に対する歴史的認識や自己意識の変化などについて報告がありました。

また、連合広島青年委員会が毎年実施している「被爆路面電車・乗車学習会の事前学習会 (被爆者からの語り部学習)」の様子を上映し、 二度と悲惨な体験をしないよう、核兵器の廃絶 と恒久平和の実現の重要性を学習しました。

最後に、高草木副事務局長から派遣団や署名、 折鶴作成などの今年度の平和行動について説明 し、積極的な参加を呼びかけました。



広島・萩原さん (藤岡地協/自治労)



長崎・並木さん (JAM)



根室・高山さん (JEC連合)



語り部学習の様子を上映

1日でも早く世界から原爆を"0"に/

親子で、戦争被害による悲惨さを学ぶための広島親子派遣団を4月27日~29日で実施し、産別・

地協から7組14名の親子 が参加しました。

1日目の語り部学習では、原爆を体験した岡田さんから、原爆投下前後の広島市内の様子や、世



被爆体験を真剣に聴く子供たち

界には約2万発の原爆が保有されていることなど の話があり、家族や友人にこの話を伝え、世界から原爆を無くせるようアクションを起こして欲し いと感極まりながら話していただきました。

2日目は、大和ミュージアムで戦争に関わる呉の歴史として、戦艦「大和」がどのように建造され、 最期を迎えたか。さらには、呉空襲の様子や復興 などを学びました。

3日目は、平和記念公園の中にある「原爆の子



折鶴7.000羽を献納

の像」へ、平和と原子爆弾が世界から無くなることを願い、組合員に折っていただいた7,000羽の折鶴を献納しました。

平和派遣団募集!!

8月に開催される広島、長崎集会、9月に開催される納沙布集会参加に向けた派遣団の募集をしています。積極的な参加をお願いします。

広島派遣団 …………

期間:8月5日(月)~7日(水)2泊3日

8月5日(月)~6日(火)1泊2日

募集人員:15名

●参加費: 2泊3日 76,000円

1泊2日 62,000円

●内 容:連合広島集会、ピースウォーク、式

典参加、ピースキャンドルなど

長崎派遣団・・・・・

期間:8月8日(木)~10日(土)2泊3日

募集人員:15名参加費:80,000円

内容:連合平和長崎集会、ピースウォーク、

式典参加、万灯流しなど

根室派遣団・・・・・・

●期 間:9月13日(金)~16日(月·祝)3泊4日

募集人員:15名

●参加費:140,000円

内容:平和納沙布集会、北方四島学習会な

ٽل

新たなルールを理解し
 改正労働関係法
 学習会
 組合のチェック機能を向上しよう!

改正された労働関係法を学び、対応方法の理解を深め、組合としてのチェック機能向上を目的とした学習会を、4月20日に群馬県勤労福祉センターで開催し、産別・地協より130名が参加しました。



群馬労働局の各担当者から説明 労働局 労働基準部 を受け、岡本監督課課長からは改 ^{監督課 岡本課長}

正労働契約法について、「4月1日以降の有期労働契約は、5年後には労働者の申し込みにより、無期労働契約に転換できる。申し込みの際は、トラブルを防ぐため書面で行うことが大切」と説明がありました。

塩原高齢者対策担当官からは改正高年齢者雇用 安定法について、「4月からの厚生年金の支給開始 年齢引き上げにより、高齢者が無収入になること を防ぐため、定年・継続雇用制度の見直しを定め たもの」と説明がありました。

最後に、鶴本需給調整指導官からは改正労働者 派遣法について、「グループ企業内に派遣会社があ る場合は8割までと規制する。離職した労働者を



ルールをしっかりと学習

離職後1年以内に派遣 労働者として再び受け 入れることは禁止」と 説明がありました。

参加者からは休憩時間や終了後も多くの質問が寄せられました。

地方交付税削減問題に関する知事要請

4月22日、県庁において、地方交付税削減問題に関する大澤知事あての申し入れ書を茂原副知事へ提出しました。

茂原副知事からは、「この問題は、人事委員会制度や地方自治法にもかか



茂原副知事に要請書を手渡す小島副会長(左)

わる問題であり、十分検討したい」とのコメント がありました。

地方交付税の削減により、地域産業の収入源である公的支出が削減されることから、地域労働者の所得や消費、雇用の減少へも波及し、公務員の賃金削減問題にとどまらず、地域経済にマイナスの影響を与え、デフレ経済をさらに加速させることが想定されます。

要請内容(概要)

- 1. 賃金・労働条件の決定にあたっては、政府の国家公務員臨時特例措置に準じた削減要請に応えることなく、労使間の交渉と合意を前提とすること。
- 2. 総務大臣に対し、以下の申し出をすること。
 - ①地方公務員の給与は、地方公務員法に基づき地域の実情を勘案し、それぞれの団体が主体的に 条例によって定められるべきものである
 - ②地方交付税は、制度の趣旨に沿って、行政需要に基づいた適正な根拠により算定を行うべきである

ライフスタイルを「身近なところから、できる ところから」見直し、より幅広い領域で環境に対 する意識啓発を促す観点から、今年度は以下につ いて取り組みます。

1. エコスタイルの実践と室内温度の設定

エコスタイル(クールビズ: $5\sim10$ 月・ウォームビズ: 11月~3月)を実践し、控えめの温度設定(夏季: 28 \mathbb{C} 、冬季: 20 \mathbb{C} が目安)の徹底に取り組むこととします。

2. 組合員への喚起

機関紙やホームページに、ピークカットアクションについて掲載し、組合員への取り組みに繋がるよう喚起を行います。

3. ホームページへ省エネの取り組み紹介

ホームページに、省エネの取り組み方法について掲載し、県民に向けてPRを行います。

4. 群馬県との連携

群馬県が取り組む「地球温暖化防止隊」県民 アクションに積極的に参加します。

イベント・行事のお知らせ

■男女平等参画推進学習会■

日 時:6月1日(土)9:40~12:00

場 所: 群馬県勤労福祉センター 第1・2会議室 内 容: 講演/男女平等推進に向けた実践的取り組み 講師/連合本部男女平等局長 曽根崎氏

■情報宣伝担当者研修会■

日 時:6月1日(土)13:00~16:00

場の所:群馬県勤労福祉センターの第3会議室

内容:取材の仕方、記事の書き方など

講師/上毛新聞社編集局編集部長飯島氏

■青年委員会・スポーツ交流会■

日 時:6月8日(土)9:30~14:00

場 所:群馬県総合スポーツセンター サブアリーナ

(室内・雨天決行)

対象者:青年層の組合員(概ね35歳まで) 参加費:500円/人 (昼食・保険加入費用)

※お問い合わせは連合群馬まで

4 NO.217

推薦候補(予定)者決定 かがや 富士

7月の第23回参議院議員選挙において、群馬選挙区から立候補を予定し ている「かがや富士子」氏を推薦候補(予定)者として決定いたしました。 過日、連合の政策・制度要求の実現に向けて政策協定を締結いたしました。



連合群馬北川会長と 政策協定を締結







私たちは、なぜ民主党を 応援するのか?

詳しくはリーフレットを⇒

〇民主党は連合がめざす社会像や理念、政策に最も近い政党です。

〇民主党政権の実績を冷静に見てみよう!

生活者、労働者の視点で、自助・共助のバランスを重視した政策を実現

- □派遣労働者を守るための法改正を実現!
- □保育所の待機児童の減少など子ども関連施策を推進! etc

太泉町麓会離賃選

4月21日に投開票された大泉町議会議員選挙は 連合群馬が推薦した組織内候補2名が見事に当選 を果たすことができました。

構成組織・地協のご支援に深く感謝いたします。 【開票結果(投票率 62.22%)】

候補者名	組織名	得票数(票)	当落
津久井明人	電機連合	2,676	当選
都丸 裕史	自動車総連	1,285	当選

太田市長選挙結果

4月14日に投開票された太田市長選挙は連合群 馬が推薦した「清水聖義」氏(現職)が6選目を 果たすことができました。

構成組織・地協のご支援に深く感謝いたします。 【開票結果(投票率 48.58%)】

> 候補者名 得票数(票) 当落 清水 聖義 47.595 当選

節電を含めた省エネは、安定したエネルギー供給を支える行動として、その重要性がますます高まっ ています。 連合エコライフ21活動のひとつとしてはじまった、 節電アイデア 「ピークカットアクショ ン」にみんなで取り組み、省エネに努めるとともに、生活習慣の見直しにつなげていきましょう!



■家庭版(全21項目より抜粋)

- ○温度設定を控えめに(夏季は28℃が目安)。
- ○扇風機で空気を循環し、効率的にエアコンを使用

明

○器具のこまめな掃除で明るさをアップ

- ○温度設定を控えめにする(強にしない)
- ○熱いものは冷ましてから入れる

○ビデオ・DVDやゲーム機器はつけっぱなしにしな

○温水洗浄便座の温水・便座の温度設定を控えめにし、 使わないときには保温便座のふたを閉める

生活行動の工夫

○家庭において特にピークカットが求められる時間帯 (13:00~16:00) の電力使用を極力抑える

■オフィス版(全12項目より抜粋)

○「エコスタイル」(クール・ビズ)を実践し、温度設 定を控えめにする(夏季は28℃が目安)

明

○昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどの、 こまめな消灯を心がける

OA機器

- ○省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめ
- ○プリンター等の共有機器の使用台数を、必要最低限

○階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレー ターの使用を最低限に制限する

上記以外の節電アイデアについては、連合群馬 ホーム ページをご覧ください。